第23回関西MISt研究会　開催報告

平成31年3月30日に梅田スカイビル　タワーウェストにおいて第23回関西MISt研究会をかいさいさせていただきました．多くのドクター，メディカルスタッフにご参加いただきました．参加者はドクター65名，メディカルスタッフ38名，合計103名と大盛況のうちに終えることができましたので，ここに報告させていただきます．

本会は特集として「インプラント関連合併症　予防と対策」ということで，経験豊富な先生方からレクチャーをしていただきました．演題は，信愛会脊椎脊髄センター　上田茂雄先生「頸椎インプラント手術における合併症予防と対策」，ツカザキ病院　下川宣幸先生「術中ナビゲーションシステムO-armを使用した脊椎手術ーpitfallと対策ー」，丸太町病院　原田智久先生「脊柱変形MISにおける合併症予防のための当院での工夫」，関西医科大学　石原昌幸先生「成人脊柱変形に対するMIStにおける落とし穴とその対策」，香芝旭ヶ丘病院　松森裕昭先生「脊椎，骨盤外傷のコツと落とし穴」，岐阜市民病院　宮本敬先生「脊椎手術のトラブル，リカバリー，予防」でした．脳神経外科，整形外科から脊椎脊髄手術を最前線で行っておられるエキスパートのレクチャーであったため，実践に即した内容で，大変勉強となりました．

特別講演1は長崎大学整形外科　助教の千葉　恒先生から「骨微細構造から捉えた骨粗鬆症: HR-pqCTによる病態・薬効評価」をご講演いただきました．骨粗鬆症の病態について詳しく講義していただき，その治療効果について具体的に述べられ，臨床に役立つ内容となっておりました．

特別講演２は秋田厚生医療センター　整形外科　名誉院長の阿部　栄二先生から「成人脊柱変形におけるインプラント関連合併症と対策」をご講演していただきました．400例を超える手術症例からデータを詳細に解析し，そこから導き出される合併症対策は納得させられるものでした．

ハンズオンは，実践的ハンズオンという趣旨のもと，インプラントを用いた手術の実際，合併症対策，合併症が起きたときの対処法を経験豊富な先生方からモデルボーンで再現して頂きました．インプラントメーカー6社から協賛をしていただき，脊柱変形，脊柱変形手術のrevision，ナビゲーションを用いた頸椎スクリューならびにSAI，PPSのピットフォール，豚生体骨を用いた手術の実際などをテーマに行いました．当初申し込みが少なく，心配されましたが，多くのドクター，メディカルスタッフが参加していただき，大盛況となりました．

ナースコースは亀岡市立病院整形外科　成田　渉先生から「仮想現実（VR)・拡張現実（AR)・複合現実（MR)による脊椎支援手術」を講演していただきました．

第23回となる本研究会を成功裏に終えることができたのも、多くの先生方や共催いただいた旭化成株式会社、そして協賛して頂いた企業の皆様のお力添えのおかげと存じます。またご多忙の中、御参加・御発表いただいた皆様には、改めましてこの場を借りて深く感謝申し上げます。

第２３回関西MISt研究会
代表幹事　深谷賢司
綾部ルネス病院　脳神経外科

集合写真

ハンズオン